## 【映画について】

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって手話はかけがえのない言葉です。
ろう・難聴の子どもたちが通うろう学校・聴覚支援学校では、手話が使われてきたのだろう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「口話法」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまったからです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。
この映画の舞台となる大阪市立聾唖学校です。

映画『ヒゲの校長』は、校長 髙橋 潔を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話がもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した髙橋と「チーム髙橋」の教員たち、髙橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあけくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しください。

【昭和8年 大阪市立聾唖学校】
～ 髙橋校長ときこえない先生たち ～

## 【あらすじ】

大正３年仙台から大阪へ、青年髙橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾唖学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を目ざす夢をあきらめ、失意にあった髙橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、髙橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを髙橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、髙橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。

## 申　込　方　法

下記のいずれかの方法でお申し込みください

### １．メールによる申し込み

① 参加申込書にある項目（氏名・住所・メールアドレス・上映時間）をメール本文に入力して送信してください。
② 受付完了後に「入場券」をメールに添付して送信します。
③ 当日に入場する際に受付で添付した「入場券」を提示してください。

**申込先　E-mail：hachirou@hi-net.ne.jp**

### ２．FAXによる申し込み

① 参加申込書に必要事項（氏名・住所・ファックス番号・上映時間）を記入し、送信してください。
② 受付完了後に「入場券」をFAXにてお送りいたします。
③ 当日に入場する際に受付で「入場券」を提示してください。

**申込先　FAX.0178-45-0561**

### ３．往復はがきによる申し込み

① 往復ハガキの往路に必要事項（氏名・住所・上映時間）を記入し、ポストに投函してください。
② 受付完了後に「入場券」を復路ハガキにてお送りいたします。
③ 当日に入場する際に受付で「入場券」を提示してください。

**宛先　〒039-1166 八戸市根城8-8-155 八戸市総合福祉会館内　八戸市ろうあ協会**

| 「ヒゲの校長」上映会申込書 | | | |
|---|---|---|---|
| 氏　名 | | FAX番号 | |
| 住　所 | | | |
| メールアドレス： | | | |
| 上映時間　①１４：００～　②１７：００～　希望する時間の番号を選んでください。 | | | |

※各回とも定員100名となります。先着順となりますので、予めご了承ください。
※ご記入いただいた個人情報は、上映鑑賞の申し込みに関する事務以外に使用することはございません。
※サポートの必要な方は補助内容を記入してください。